

旧大名小学校跡地まちづくり構想検討委員会
第5回資料

平成28年 2月1日
福岡市

1. 旧大名小学校跡地まちづくり構想策定までの流れについて

H27. 1月 検討委員会（第1回）

- 旧大名小跡地活用において検討すべき事項

H27. 3月 先進事例調査（東京都千代田区）

- 丸の内三菱1号館街区
 - アーツ千代田3331
- 歴史的建物の活用、広場のあり方などを視察しました

H27. 4月 検討委員会（第2回）

- まちづくりの方向性について

H27. 9月 検討委員会（第3回）

- まちづくり構想骨子案について

H27. 11月 検討委員会（第4回）

- まちづくり構想素案について

H27. 12月 市民意見募集

- まちづくり構想原案について
(H27. 12. 22~H28. 1. 21で実施)

今回

H28. 2月 検討委員会（第5回）

- まちづくり構想原案への市民意見募集の結果とその対応

H28. 3月予定 まちづくり構想
(福岡市策定)

策定後は、まちづくり構想を踏まえ、福岡市において計画づくりに取り組む。

「旧大名小学校跡地まちづくり構想（原案）」 市民意見募集の実施結果について

1. 実施の目的

旧大名小学校跡地は、都心部の機能強化と魅力づくりを図る上で重要な役割を担う場所であるとともに、地域においてこれまで学校施設が担ってきた地域活動や災害時の避難場所としての役割も重要である。

平成30年度以降の跡地活用に向け、今後のまちづくりの指針となる、跡地活用の基本的な考え方についてとりまとめた「旧大名小学校跡地まちづくり構想」の策定にあたり、市民意見を反映させるため、パブリック・コメント手続きによって意見募集を実施したものの。

2. 意見募集期間

平成27年12月22日（火）～平成28年1月21日（木）

3. 実施方法

（1）公表方法

下記の場所において閲覧・配布するとともに、福岡市ホームページにおいて公表。また、市政だよりにおいて、市民意見募集の周知を行なった。

＜閲覧・配布場所＞

都心再生課（市役所4階）、情報公開室（市役所2階）、情報プラザ（市役所1階）、各区役所情報コーナー、入部出張所、西部出張所

（2）意見提出の方法

意見については、住所及び氏名を明記のうえ、福岡市住宅都市局都市づくり推進部都心再生課へ書面で提出いただいたほか、電子メール、ファックス、郵送による受付をおこなった。

4. 意見の提出状況

（1）意見提出数 34通

（2）意見件数 107件

【内訳：意見の概要及び件数】

種別	意見件数	意見割合
イ. 旧大名小学校跡地まちづくり構想への意見	41	38.3%
ロ. 構想の具体化に向けた意見	48	44.9%
① 具体的な機能や施設、校舎・広場の活用方法等への提案	34	31.8%
② 今後の進め方（計画づくり等）に関する意見	14	13.1%
ハ. 跡地にとどまらない取り組みについての提案や意見	18	16.8%

5. 意見の概要

イ. 旧大名小学校跡地まちづくり構想への意見

- ・まちづくりの方向性・テーマ(グローバル・アジアな視点, 大名・福岡らしいテーマ, 地域住民のためだけから市民などのための場所に生まれ変わるべき 等)
- ・商業的賑わいは不要(空閑地とする, 静かな地区を守ってほしい, 公園など地域密着の場 等)
- ・校舎の活用(多くの人材輩出した跡地を保存の為に校舎を活かすのが理想 等)
- ・跡地には多面的な機能・設備を有するべき(広場利用の柔軟性, 回遊拠点に留まらず市民が目的を持って集まり交流活動が生まれる場に 等)
- ・広場と校舎や動線との関係性(広場の開放性・安全性の確保, 跡地全体・周辺とのつながりを考慮した校舎の活用方法の検討 等)
- ・風営法の規制に関する取り組み(地区条例等による確実な担保, ハード・ソフト(市条例の強化)両面から地域行政一体での取り組み 等)
- ・防犯に関する取り組み(落書き等犯罪の芽となるようなものを早期につみ取る 等)
- ・位置づけや用語の確認(天神ビッグバンと関連が不明, 連鎖型まちづくりのイメージ 等)
- ・跡地の有する可能性(クリエイティブな活動を実現できる立地特性, 地域の歴史はまちのオリジナリティや付加価値になる, 連鎖型まちづくりにより国際競争力強化につながる など) 等

ロ. 構想の具体化に向けた意見

① 具体的な機能や施設, 校舎・広場の活用方法などについての提案

- ・創造性を核に多様なビジネス・人・企業が交流する中核的な場づくり(コワーキングスペース, ビジネススクール, ビジネスチャンス誘引する起業家と投資家・大企業の出会場の場 等)
- ・創造性、歴史文化性(九州の工芸と最先端のデジタルから新たな産業・文化を生み出す場 等)
- ・おもてなしの機能(グレードの選択肢を増やす外資系ホテル, 観光客への情報提供 等)
- ・発信力のある学術等拠点(グローバル中等教育学校, 小～高一貫校, 単位制定時制高校 等)
- ・働く人、子育て世帯を支援する施設(高齢者介護支援等施設, 子育て支援等施設 等)
- ・多様な広場利用を可能とする柔軟な仕組み(使い方に応じた空間設計やルール 等)
- ・広場を介し周辺とつながりしなげづくり(人々の興味をそそる空間, 通りに面したゲート 等)
- ・可能性を向上させる仮設等による段階整備 ・まちの発展を支える駐輪場 等

② 今後の進め方(計画づくり等)に関する意見

- ・民間のアイデアや創意工夫を引き出すべき ・情報公開・市民やエリマネの巻き込み
- ・民間と連携した事業化検討の必要性
- ・民活に際しての踏み込んだ政策支援(容積緩和, 航空法の高さ緩和, 定期借地等) 等

ハ. 跡地にとどまらない取り組みについての提案や意見

- ・福岡の地位確立に向けた跡地活用(クリエイティブ, 人材育成, 文化・産業育成 等)
- ・機能は, 天神・大名エリア全体で分担して担うことも考えられる
- ・天神地区との回遊性の確保(地下通路, 歩道橋, 歩きやすい歩道 等)
- ・交通渋滞への対応(駐車場の集約化, 隔地化 等)
- ・エリアマネジメントによる継続的取り組みと期待する役割(街区全体で相乗効果を生む多様な機能を導入し跡地と連携させる, 歴史継承と未来への新たな魅力を育む 等) 等

6. 修正案

意見の要旨	対応（本市の考え方）	対応方針
<p>①グローバルな視点のまちづくりに関する意見</p> <p>○跡地は天神・大名の異なる個性・魅力をつなぐとともに、今後のまちづくりを牽引する重要な役割を担う場所であり、天神・大名地区の発展が福岡市全体の底上げとなることから、グローバル・アジアの視点で福岡市のポテンシャルを活かした構想として頂きたい。</p> <p>○観光立国を推進する日本のアジアの窓口として、国際化に対応したまちづくりを視野に入れておく必要がある。</p> <p>○今後の福岡市（さらには九州）の成長の拠点となるため、国際的に注目される魅力的な空間を創出することが大事。</p>	<p>※採用意図 国際的な交流時代にあって、国内だけでなく国際的にも評価され選ばれる都市として、まちづくりに取り組む必要があるため。</p> <p>【P5】 <3.（3）天神地区・大名地区のまちづくりの方向性> 変更前（構想原案） ◎隣接する天神地区・大名地区のまちなみや人の流れをつなぎ、都心部の活力や賑わいを高めるまちづくりに取り組む</p> <p>⇒ 変更後（構想案） ◎隣接する天神地区・大名地区のまちなみや人の流れをつなぎ、都心部の活力や賑わい、国際的な魅力を高めるまちづくりに取り組む</p>	修正
<p>②連鎖型まちづくりに関する意見</p> <p>○「連鎖型まちづくり」というイメージが浮かびづらい。</p> <p>○天神明治通り地区では、建物の更新期を迎え、再開発計画の準備が進められているが、円滑でスピード感のある連鎖型まちづくりを推進していくうえで、約1.2ヘクタールの敷地面積を持つ旧大名小跡地は大変貴重な空間。そのため、当跡地活用策等、連鎖型まちづくりを視野に入れた検討を進めてほしい。</p> <p>○連鎖型まちづくりの視点は重要で、跡地だけの単独処分・単独開発で終わってしまうのではなく、周辺と一体となったまちづくりのしかけを考える必要がある。まちづくり上の課題解決の幅が広がり、結果的に国際競争力の強化へとつながるのではないか。一つ終わったら次と、長期的な連鎖事業の推進を図っていくような視点も必要。</p>	<p>※採用意図 専門的な用語のため、解釈にばらつきがあることから、用語解説により補足する必要があるため。</p> <p>【P10】 <6. 今後の検討課題> 変更前（構想原案） ◎円滑な機能更新に向けて ・跡地は、更新期を迎える天神・大名地区において貴重な空間であり、連鎖型まちづくりの視点も重要</p> <p>⇒ 変更後（構想案） ◎円滑な機能更新に向けて ・跡地は、更新期を迎える天神・大名地区において貴重な空間であり、連鎖型まちづくりの視点も重要 ※連鎖型まちづくりとは、跡地などの空間にビルやテナントを移転し、活動を継続させながらエリア全体の建て替えが順次展開していくようなまちづくりの手法</p>	修正